



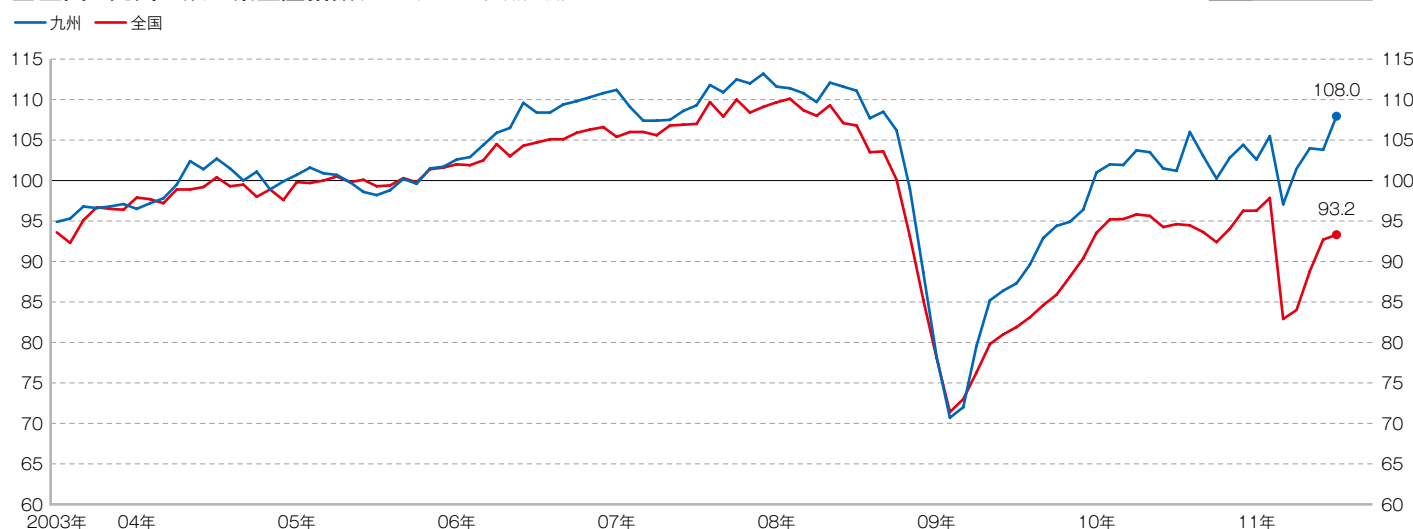
九州の鉱工業生産動向

基調判断 | 持ち直しの動きが継続している

2011年7月の九州地区の鉱工業生産指数(季節調整済)は、前月比4.1%上昇の108.0と2ヵ月ぶりに上昇しました。電子部品・デバイス等では調整の動きが見られたものの、自動車部品等のサプライチェーン回復により増産の動きが続く輸送機械が全体をけん引しました。九州地区の生産指数は東日本大震災前の2011年2月の水準(105.6)を上回る等、持ち直しの動きは継続しています。

■全国と九州の鉱工業生産指数(2005年=100・季節調整済)

出所 九州経済産業局

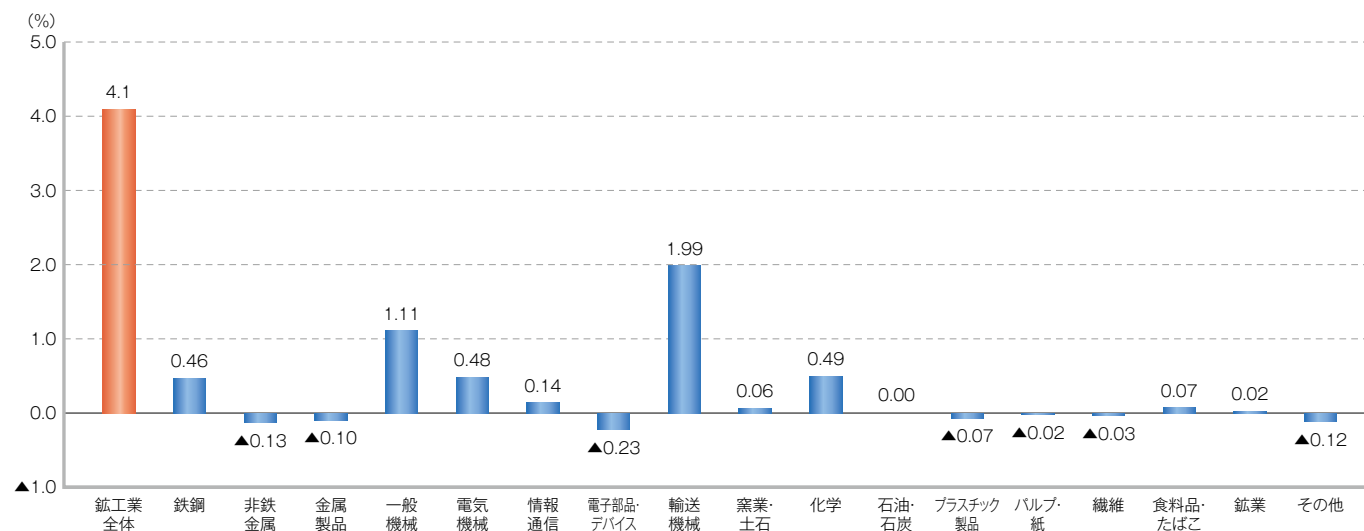


業種別動向 | 輸送機械をはじめ、幅広い業種に回復の動きが広がる

業種別の寄与度をみると、電子部品・デバイスにおける薄型テレビ向け集積回路の生産の減少等がマイナスに寄与した一方、自動車部品供給体制の復旧が進んだ輸送機械で震災後に落ち込んだ生産の遅れを取り戻す動きが顕著となったことや、自動車向け樹脂製品原料等の化学や、産業用ロボット等の一般機械における増産の動きもプラスに寄与しました。

■業種別寄与度(鉱工業生産指数)

出所 九州経済産業局



福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

生産活動については、在庫調整を行った鉄鋼、化学が低下する等、一部調整の動きも見られましたが、部品供給体制の復旧が進む輸送機械や一般機械は上昇基調を維持しており、持ち直しの動きが続いています。

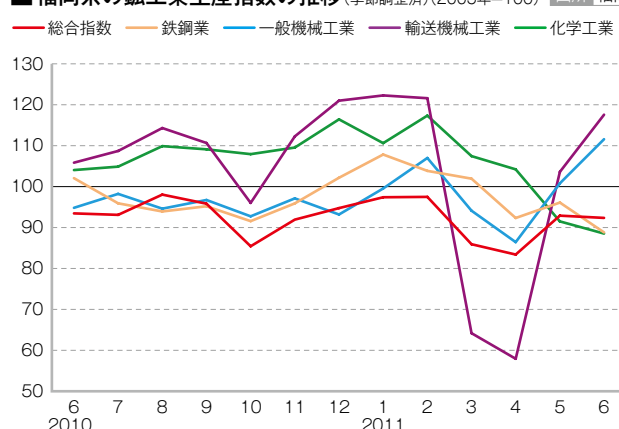
消費面では、大型小売店販売額は、新博多駅ビルの開店効果が続いていることや、平年より早い梅雨明けにより夏物衣料品や飲料・冷菓等の飲食料品等に動きが見られたこと等から、前年を上回りました。住宅建設については、震災による建築資材の調達難がほぼ解消されたことで、総じて好調に推移しました。

1. 生産活動 | 総合指数は2カ月ぶりに低下

6月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きをみると、総合指数は92.3となり、前月比0.6%低下しました。

主要業種では、部品供給体制の復旧が進み、生産体制の回復が続く自動車等の輸送機械や一般機械が前月に続いて上昇したものの、在庫調整を行った鉄鋼、化学が低下したこと等から、総合指数は2カ月ぶりに低下しました。

■ 福岡県の鉱工業生産指数の推移 (季節調整値)(2005年=100) 出所 福岡県



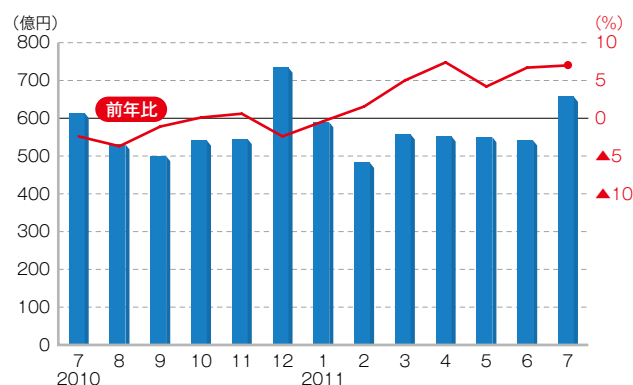
2. 大型小売店 | 6カ月連続で前年を上回る

7月の大型小売店販売額は、前年同月比7.1%増の657億円と、6カ月連続で前年を上回りました。

新博多駅ビルの開店効果が続いていることに加え、平年より早い梅雨明けにより夏物婦人服等の衣料品に動きが見られたことや、気温上昇によって飲料・冷菓等の飲食料品も好調に推移したことが影響しました。

■ 福岡県の大型小売店販売額

出所 九州経済産業局



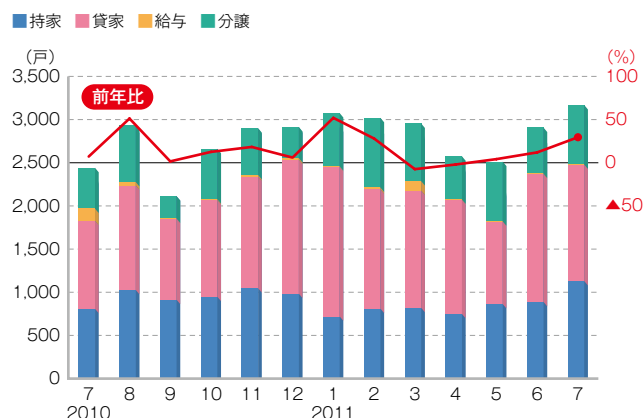
3.住宅建設 | 3カ月連続で前年を上回る

7月の新設住宅着工戸数は、前年同月比29.8%増の3,168戸と3カ月連続で前年を上回りました。

震災による建築資材の調達難がほぼ解消されたことに加え、住宅取得関連の優遇制度の効果等から、住宅建設は総じて好調に推移しました。また、貸家では、住宅版エコポイント制度の着工対象期間が7月末で終了することを受け着工を前倒す動きも見られました。

■福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



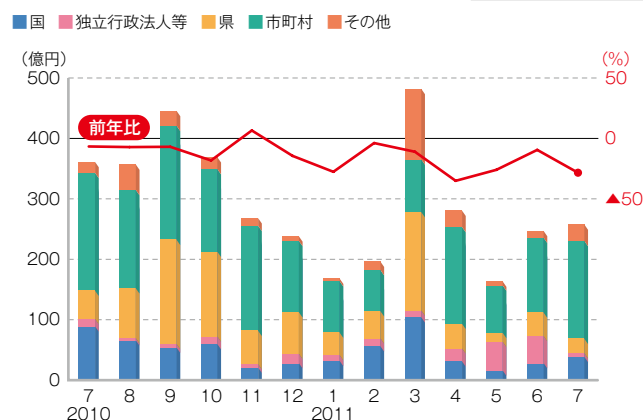
4.公共工事 | 請負金額は8カ月連続で前年を下回る

7月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比16.9%減の679件、金額は同28.7%減の258億円となり、請負金額は8カ月連続で前年を下回りました。

発注者別では、水道関連の工事等で「その他」が増加しましたが、「国」では昨年大型工事の発注があった反動から同56.7%減となり、また、「県」「市町村」も前年同月と比べ減少しました。

■福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証

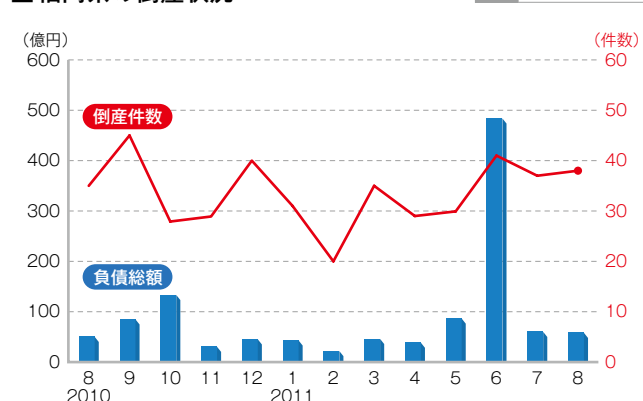


5.企業倒産 | 件数、負債総額ともに前年を上回る

8月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、建設機械レンタル業で14億円の大型倒産が発生したこともあり、件数は前年同月比8.6%増の38件、負債総額は同15.7%増の58億円と前年を上回りました。

■福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

生産活動については、特殊産業機械の生産が減った一般機械や、震災による代替生産の動きが一段落した食料品・たばこが低下しているものの、電子部品・デバイスは高操業を続けており、輸送機械も上昇していることから、持ち直しの動きは続いています。

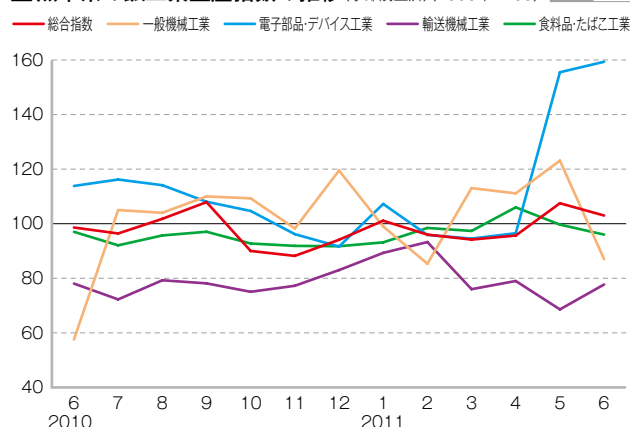
消費面では、大型小売店販売額は、身の回り品等一部好調な商品はあったものの、年初のショッピングセンター閉店による影響が大きく、5ヵ月連続で前年を下回りました。住宅建設は、マンション市況の改善に加え、震災による建築資材の調達難がほぼ解消されたことで、全体的に好調に推移しています。

1. 生産活動 | 総合指数は3ヵ月ぶりに低下

6月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は103.1となり、前月比4.1%低下しました。

主要業種では、振れの大きい半導体製造装置等の生産が減った一般機械や、震災による代替生産の動きが一段落した食料品・たばこが低下しましたが、一方で、集積回路等の電子部品・デバイスは高操業を続けており、また、輸送機械も上昇しています。

■ 熊本県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値)(2005年=100) 出所 熊本県



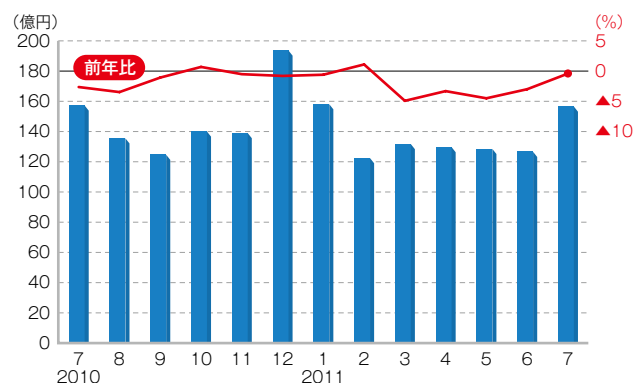
2. 大型小売店 | 5ヵ月連続で前年を下回る

7月の大型小売店販売額は、前年同月比0.4%減の157億円と、5ヵ月連続で前年を下回りました。

身の回り品等一部衣料品では前年を上回るものも見られましたが、大型ショッピングセンターが1月、2月に相次いで閉店した影響が大きく、主力の衣料品、飲食料品共に、前年を下回る状況が続いています。

■ 熊本県の大型小売店販売額

出所 九州経済産業局



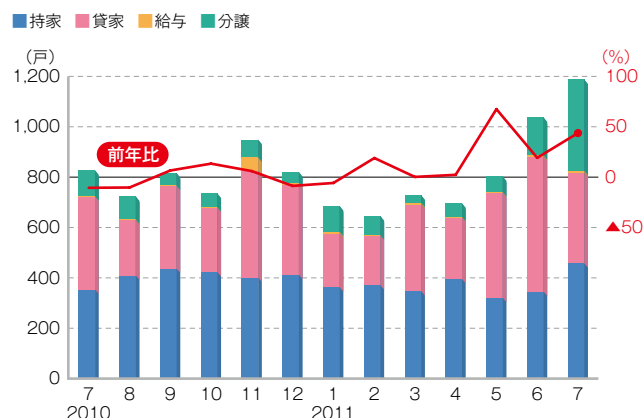
3.住宅建設 | 4カ月連続で前年を上回る

7月の新設住宅着工戸数は、前年同月比43.5%増の1,187戸と4カ月連続で前年を上回りました。

震災による建築資材の調達難がほぼ解消されたことで、持家、分譲が大幅に増加した他、貸家も前年並みを維持する等、全体的に好調に推移しました。また、分譲ではマンションの在庫調整が進み、市況が改善しつつあることも追い風となりました。

■熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



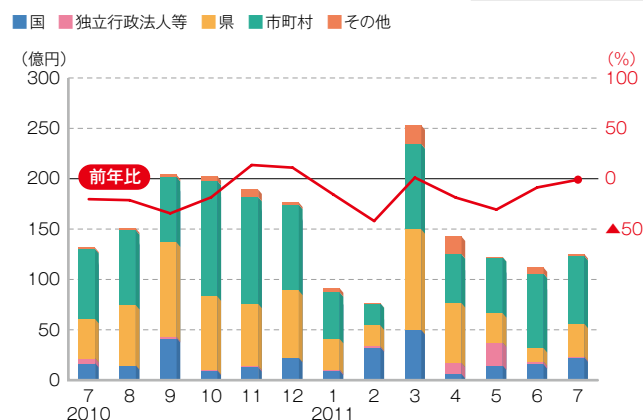
4.公共工事 | 請負金額は4カ月連続で前年を下回る

7月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比11.1%減の482件、金額が同1.0%減の130億円となり、請負金額は4カ月連続で前年を下回りました。

発注者別では、「国」や小中学校校舎改築工事があった「市町村」は前年を上回りましたが、「独立行政法人」「県」は大型工事が無く前年を下回りました。

■熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額は3カ月ぶりに前年を上回る

8月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数は前年同月比57.1%増の11件、負債総額は同33.4%増の11億円となりました。

前月比では、倒産件数、負債総額ともに減少し、小口の倒産が相次ぎました。

■熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

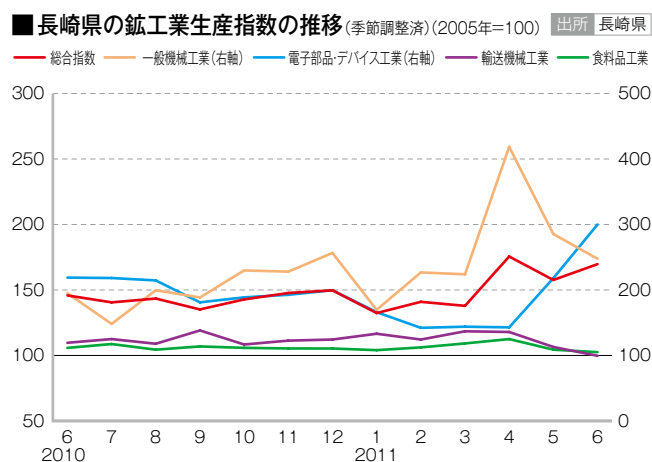
生産活動については、半導体集積回路が好調な電子部品・デバイスが全体の上昇をけん引したことに加え、新興国からの需要が好調な一般機械も高操業を続けており、持ち直しの動きが続いています。

消費面では、大型小売店販売額は、7月末を以って閉店した老舗デパートの大規模なセール実施もあり、2ヵ月連続で前年を上回りました。住宅建設については、持家が前年実績を上回りましたが、貸家が前年同月からの反動で大幅に減少しました。

1. 生産活動 | 総合指数は上昇し高水準を維持

6月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きをみると、総合指数は168.5となり、前月比6.4%上昇しました。

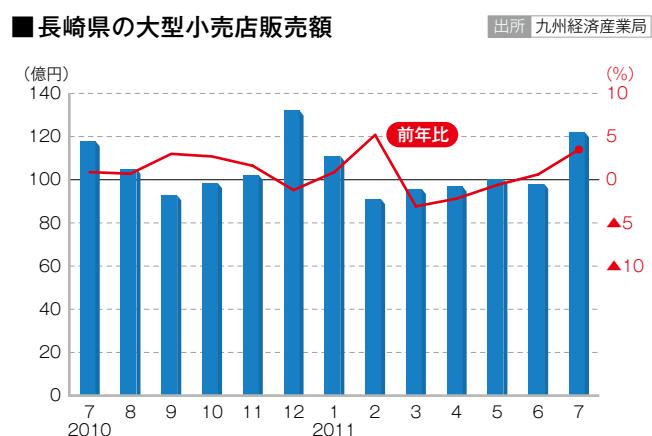
主要業種では、造船等の輸送機械や食料品が低下したものの、半導体集積回路が好調な電子部品・デバイスの上昇が全体をけん引したことに加え、新興国からの需要が好調な一般機械も高操業を続けており、総合指数は前月から上昇し高水準を維持しています。



2. 大型小売店 | 2ヵ月連続で前年を上回る

7月の大型小売店販売額は、前年同月比3.6%増の122億円で、2ヵ月連続で前年を上回りました。

百貨店は7月末を以って閉店した老舗デパートのセール実施により前年を大幅に上回った他、スーパーも前年比で小幅に増加し、商品別では紳士服や身の回り品を含む衣料品が好調でした。





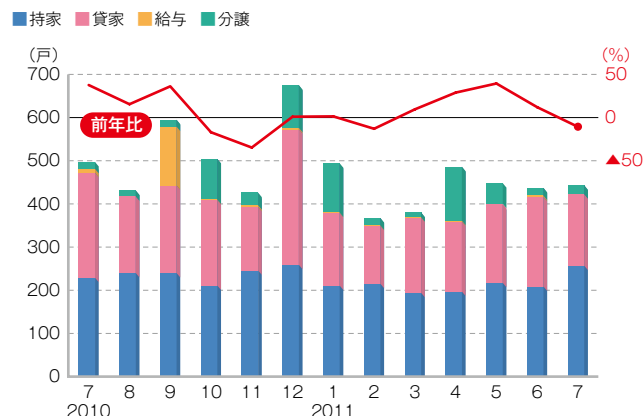
3.住宅建設 | 5ヵ月ぶりに前年を下回る

7月の新設住宅着工戸数は、前年同月比10.9%減の443戸と5ヵ月ぶりに前年を下回りました。

住宅取得関連の優遇制度の効果等から持家は前年実績を上回りましたが、貸家は好調だった前年同月からの反動により大幅に減少しました。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



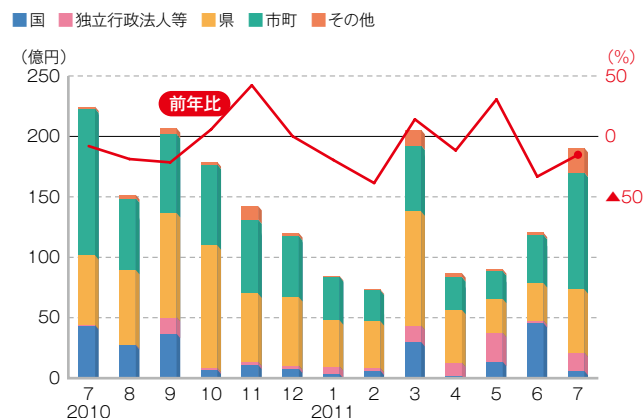
4.公共工事 | 請負金額は2ヵ月連続で前年を下回る

7月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比4.1%減の464件、金額が同15.2%減の191億円となり、請負金額は2ヵ月連続で前年を下回りました。

発注者別では、新幹線関連の大型工事のあった「独立行政法人」や市街地再開発等で「その他」が増加したものの、前年同月に大型工事のあった「国」が反動から同85.5%減となる等、全体では前年を下回りました。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 2ヵ月連続で負債総額は前年を上回る

8月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、タイル等工事業で7億円の倒産が発生したこともあり、件数は前年同月比倍増の6件、負債総額は同4倍増の11億円と、件数金額ともに前年を上回りました。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ

